

2023年度 学校自己評価報告書

2024年 3月

 学校法人八文字学園
専門学校水戸ビューティカレッジ

◆2023 年度 学校自己評価について

学校法人八文字学園、専門学校水戸ビューティカレッジは、平成 15 年の創立以来数多くの卒業生を輩出し、美容業界の発展とともに歩んでまいりました。その間、美を追求する技術は生活様式と密接に関わる中でさまざまに変化し、その多様化及び個性化が特徴的となりました。本校では、こうした時代の流れや社会的要請を踏まえ、新時代を担う美容スタッフとして社会に貢献できる人材育成を使命として、常に教育内容の改善・改良に努めながら教育活動の展開をしてまいります。

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として、2023 年度学校自己評価を実施し、本校の教職員が更なる教育の質の向上を目的として自校の教育活動その他の学校の状況について客観的に評価し、現状の把握、問題点の発見ならびに改善策の検討・実施を行っております。

1. 対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 実施方法

- (1) 自己点検評価委員会による合議制の評価
学校長をトップとして学校自己評価委員会を設置し、その規定によって方針を定め、自己点検・自己評価を実施し、改善に取り組んでいます。
- (2) 参考基準：「専修学校における学校評価ガイドライン」
- (3) 評価期限：年一回年度末
- (4) 評価結果の公開：報告書の作成保管およびホームページでの公開をしております。

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

1) 自己点検・自己評価の実施

学校関係者評価委員会に実施に先立ち、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、2023年度自己点検・自己評価を実施した。自己点検・自己評価の点検項目は、評価項目の達成及び取組状況 11 分類 63 項目である。『2023 年度自己点検評価報告書』には、各項目の自己点検実施状況を記載し、自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1、無該当：0）を示した。また、①課題、②今後の改善方法、③特記事項を記載し、自己点検評価委員会により教員の評価平均と問題点と改善策についてまとめた『2023 年度学校自己評価報告書』を学校関係者評価委員会に提出した。

2) 自己点検・自己評価結果の報告

学校関係者評価委員会では、本書である『2023 年度学校自己評価報告書』を用いて、学校関係者委員に対して、各項目の自己点検実施状況及び自己評価ポイント、現状及び問題点と改善策を開示し、その評価を依頼する。

5. 評価項目の達成及び取り組み状況

◇ 1 教育理念・目的 総合評価 3.60

教育理念

美容スタッフとしての人間力の育成

1. 美容に関する知識・技能を修得させ、あわせて社会人としての教養と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成すること。
2. 美容の多様化、個性化に対応するためにメイク・ネイル・エステティック技術などトータルビューティの修得についても目指す。
3. コンピュータ活用能力の修得などビジネス教育を通し、幅広い視野をもつ美容スタッフの育成を行う。

水戸ビューティカレッジは、この教育理念にプラスして、美容業に携わるサービススタッフとして、コミュニケーション能力の向上、よりよいマナーの修得を目的として、常に問題解決型指向の人材養成に取り組んでおります。

(1) 評価

評 価 項 目		評価 (4～1)
ア	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3.75
イ	学校における職業教育の特色を示しているか	3.50
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.50
エ	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3.50
オ	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.75

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教育理念や育成人材像等を、学生へホームルームや行事を通し周知しているが充分ではない現状。
- ・企業との連携授業や業界セミナーなどを多く取り入れていることで学生たちの視野が広がった。

◇ 2 学校運営 総合評価 3.50

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.75
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.75
ウ	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.75
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか	3.00
オ	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.50
カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.50
キ	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.50
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教員の確保が求められている。
- ・学校運営に関する意思決定機能や組織は整備されている。
- ・教務に関しては必要に応じて人員体制等の変更を検討する必要がある。
- ・情報システム化による業務の効率化が図られているが、使いこなせていない部分もある。

◇ 3 教育活動 総合評価 3.46

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.50
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.75
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.75
エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.75
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.75
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.50
キ	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.50
ク	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.50
ケ	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.50
コ	資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.50
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.00
シ	関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.00
ス	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか	3.25
セ	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教育到達レベルに合わせて学習時間を設定しているが、学力差異や個人の能力差が大きく、技術面や学習面、生活面でのレベルを一定に維持することが難しい。
- ・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保が必要。

◇ 4 学修成果 総合評価 3.30

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	就職率の向上が図られているか	3.75
イ	資格取得率の向上が図られているか	3.50
ウ	退学率の低減が図られているか	3.00
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3.00
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

- ・退学防止や低減を目標とした、基礎学力の充実。
- ・成績不振者や生活態度面で問題のある学生との面談等による支援。
- ・卒業生の社会的活躍および評価については進路ガイダンスや業界セミナーを依頼することで把握している。

◇ 5 学生支援 総合評価 3.78

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.75
イ	学生相談に関する体制は整備されているか	4.00
ウ	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.00
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.00
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.75
カ	学生の生活環境への支援は行われているか	3.75
キ	保護者と適切に連携しているか	3.75
ク	卒業生への支援体制はあるか	3.50
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.50
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の組織が行われているか	3.75

(2) 現状および問題点と改善策

- ・学生の健康管理を担う仕組づくりの強化。
- ・課外活動やボランティア活動へ積極的に参加を促している。
- ・高校・高等専修学校等との連携の推進を行う。

◇6 教育環境 総合評価 3.13

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.75
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.25
ウ	学生が自主的に学習するために環境が整備されているか	3.25
エ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

- ・設備老朽化等の補修・改善が必要。
- ・学外の企業実習等について、組織的な取り組みが必要。
- ・企業との連携でインターンシップを実施予定。

◇7 学生の受け入れ募集 総合評価 3.58

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	3.75
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.50
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	3.50

(2) 現状および問題点と改善策

- ・学生募集にあたり、高校生目線のインパクトのあるパンフレットの作成や SNS の活用が必要。
- ・教育成果（検定合格率）などは正確に伝えられている。
- ・教育内容や成果を十分理解してもらうため、ホームページや学校見学会、オープンキャンパス等で、さらに詳細に説明する。

◇ 8 財務 総合評価 3.44

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.25
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.50
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか	3.50
エ	財務情報公開の体制整備はできているか	3.50

(2) 現状および問題点と改善策

- ・各年度の収支とこれまでの蓄積を充て、借入せずに自己資金で賄ってきており、財務諸表の通り財政基盤は安定している。

◇ 9 法令等の遵守 総合評価 3.75

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.75
イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3.75
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.75
エ	自己評価結果を公開しているか	3.75

(2) 現状および問題点と改善策

- ・県、国に関係書類を提出し運営許可を得ている。また、法令や設備基準を把握し遵守している。
- ・教職員に対しては、個人情報の適正な管理運営に努めネット社会の危険性の周知と意識向上を図っている。

◇ 基準 10 社会貢献・地域貢献 総合評価 3.42

(1) 評価

評価項目		評価 (4～1)
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.50
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.75
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.00

(2) 現状および問題点と改善策

- ・高校生に対して見学会やオープンキャンパス等の機会を利用し職業観の育成を図り職業への関心を高める支援を行っている。
- ・ボランティア活動においては、学生による学校周辺の清掃を行い、地域との結びつきの大切さなど意識向上を図っている。

◇11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

以 上

学校法人八文字学園 専門学校水戸ビューティカレッジ
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14
